

令和5年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立明德小学校
(明德中学校区)

全国平均値との差

	国語	算数
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+6.0	+5.0
令和8年度	—	—
令和7年度	—	—
令和6年度	—	—
令和5年度	+11.8	+16.5
令和4年度	+9.4	+3.8

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

科目	重点課題	改善の方策	検証
<p>国語</p> <p>本校 79.0% 全国 67.2% 県 69.0%</p> <p>話すこと・聞くこと 書くこと 読むこと 言葉の特徴や使い方 情報の扱い方</p>	<p>◎ 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。 (設問1二)【書くこと】(平均正答率 50.0%)</p> <p>◇ 書き手や話し手の意図に応じて、情報を整理したり自分の考えが伝わりやすいように表現したりする力に課題がある。</p>	<p>◎ 伝えたいことを明確にし、分かりやすく伝えるためにどのような図表やグラフなどを用いるとよいか考えさせる。また、モデルとなる文章を提示するなどして図表やグラフなどを適切に用いることができ、相手にとってよく理解できるものになることを実感できるように指導する。</p> <p>◇ 文章を書く際に、目的や相手を明確にし、複数の情報を比較したり、関連付けたりすることで、伝わりやすいように工夫させる。また、叙述の仕方や文章を整えるために、読み手の立場に立って仲間と文章を見直す場面を設定する。</p>	<p>◎校内実施の学力テスト【書くこと】(1~6学年12月) 目標 70%→結果 76.3%</p> <p>◇全国学力学習状況調査【書くこと】(5・8学年2月) 目標 80%→結果 61.0%</p>
<p>算数</p> <p>本校 79.0% 全国 62.5% 県 64.0%</p> <p>数と計算 図形 データの活用 変化と関係</p>	<p>◎ 高さが等しい三角形について、底辺と面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題があった。 (設問2(4))【図形】(平均正答率 16.7%)</p> <p>◇ 算数・数学的な用語や定義を理解することやその既習の知識を活用し、資料から必要な情報を抜き出し、用語を用いて表現することに課題がある。</p>	<p>◎ 三角形や四角形の面積について考える際、図形を構成する要素や構成する要素の間の関係に着目して、面積の公式と図形の意味や性質を基に考えることで、問題の解決に必要な条件を見だし、適切に使うことができるように指導する。</p> <p>◇ 算数・数学的な作業活動を繰り返したり、生活につなげて必然性を持たせる授業に取り組んだりして、基本的な用語や定義を理解させる。また、それを使って表現させるなどして定着させる。</p>	<p>◎校内実施の学力テスト【図形】(1~6学年12月) 目標 70%→結果 70.8%</p> <p>◇全国学力学習状況調査【データの活用】(5・8学年2月) 目標 70%→結果 68.5%</p>

【来年度に向けて】

○ 校内実施の学力テストにおいて国語科も算数科も課題の設定目標値を上回ることができ、改善の兆しは見られる。しかし、学力テストの記述問題では、1年生算数科以外はどの学年も国語科・算数科とも全国平均を下回っている。基本的な用語や定義を理解させるとともに、問題から情報を収集し、比較・分類・関連付けをしながら自分の考えを書き表す力を付ける取組を工夫する。また、生活につなげて必然性をもたせる授業に取り組む。